

## 第五次岡豊城発掘調査

### 三ノ段で

# 居館跡を検出

歴史民俗資料館が建設されている岡豊山で、六月十九日から岡豊城跡の第五次発掘調査が行われており、これまでに石垣や居館などが発掘されました。



居館と見られる礎石群

この調査は、県教育委員会が、歴史民俗資料館建設に伴い岡豊城跡を調査し、その姿を解明、史跡公園として整備する資料を得るため、昭和六十年から五カ年計画で進

めてきたもので、これまで詰や二ノ段三ノ段の一部が調査され、石垣などが検出されています。今回は、三ノ段を中心に約一六〇平方メートルを調査しており、三ノ段が二つのブロックに分けられていることや、居館と見られる建物跡が発見されました。このうち居館は北側のブロックから検出されましたが、これは南北八間東西四間の礎石群で、礎石が大きく、規則正しく半間ごと

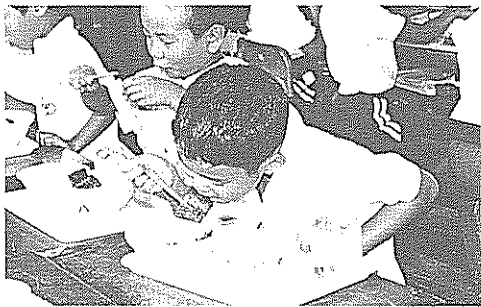
に並んでいます。また、礎石間に列石が見られ、土壁を有していたと思われる。

出土遺物は土師質土器や青磁、鉄くぎなど約五百点。また、この礎石群は遺物を含まない黄色土でおおわれており、岡豊城の末期に埋め戻し、広場として利用したのではないかと見られています。

これまでの調査によって、岡豊城跡は、中世の山城から天守閣や石垣を有する近世城館へと

## 三和小学校に

# うなぎのプレゼント



「いただきます」

移り変わる時期の貴重な資料として、全国的にも注目されています。国庫補助を受けて行われていた調査は今回で終了しますが、担当者は「今後も調査を続け、訪れた人が歴史を肌で感じることのできる公園に整備していきたい」と話しています。

子供たちは給食の時間を待ちかねていたように、元氣よく「いただきます」と言うと、早速うなぎをほおぼっていました。

## 物部川で

### 一斉清掃



ごみ袋を片手に堤防の清掃

土用の入りを前にした七月十九日に、高知県淡水養殖漁業協同組合（原正登司組合長）から三和小学校（土居朝江校長、生徒数二百九十二人）にうなぎ三百二十人分がプレゼントされました。

同組合では消費拡大のために毎年この時期に市内の小学校にうなぎをプレゼントしています。この日も組合員の皆さん十人が同校を訪れ、かば焼きを作りました。

河川愛護月間の七月十六日に、流域の住民や少年サッカーチームのメンバーなどが物部川の一斉清掃を行いました。

これは、河川の愛護意識を高めようと、建設省高知工事事務所が昨年から行っているものです。参加者はごみ袋を片手に約一時間かけて河川敷の空き缶などを拾ってまわりました。